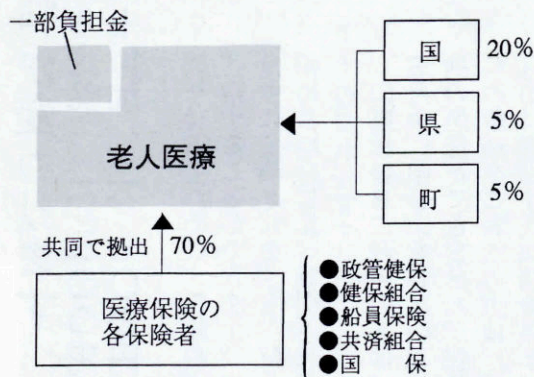


老人保健と老人医療費

～増え続ける受給者数と医療費～



老人保健受給者が、病院や診療所で治療を受けるとき、かかった医療費の財源は、受給者が負担する一部負担金を除いた金額の七割を、医療保険の各保険者が負担し、国、県、町が三割を公費負担しています。

油谷町では平成六年度は、一人当たりの医療費が約六十四万二千円（一部負担金除く）使われています。その内、七割分の約四十四万九千円を家族や周りの人が支払う保険税で、残りの三割分の約十九万三千円を、国、県、町の負担でまかなったこととなります。

老人医療費はだれが負担してるの？

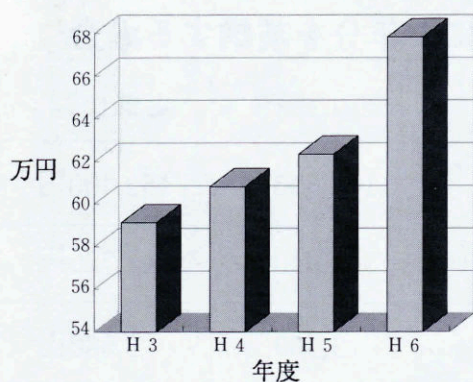


図1. 町民一人当たりの老人医療費

油谷町民一人当たりの医療費は、毎年確実に増加している。（注：この金額には受給者が支払った一部負担金が含まれていません。）

老人受給者数は、毎年四十～五十人ずつ増えつづける一人当たりの医療費も伸びる傾向にあります（図1）。医療費の増加分は、皆さんが納められる保険税などを値上げして補われることになり、その分、皆さんの負担が増えることとなります。

このように、多くの人々の協力でまかなわれている制度ですから、皆さんの家族や周りの人々の生活を守るためにも、医療費に関心を持つて、その有効利用を心がけることが大切です。

医療費に正しい理解を

- 老人医療費がなぜ増えるのか、その要因として考えられるものをあげてみました。
- ① 医療の高度化
高度な医療技術・制ガン剤など高価な薬が開発され、一件当たりの医療費が高くなっている。
 - ② 成人病の増加
長期の治療が必要な慢性疾患が増えている。
 - ③ 入院期間が長期になりやすい
 - ④ 受給者の医療機関へのかかり方に原因がある
病院を転々としたり、薬をねだったり、医師の指示を守らず、病気を長びかせることが多い。
このような要因を正しく理解したうえで、皆さん一人一人が、自分の健康づくりに注意して、気軽に相談できる家庭医を持ち、健康で楽しい毎日を過ごしましょう。

医療費有効利用 7カ条

- 1 要領よく症状の説明をしよう
- 2 家庭医をもとう
- 3 同じ病気でいくつもの医者にかかるのはやめよう
- 4 治療より予防が大切
- 5 健康診断は積極的に受けよう
- 6 栄養・運動・休養の健康3原則を守ろう
- 7 医療費に関心を持ち、健康保持の工夫をしよう